

大阪府議会議長 様

## 島本高校・茨田高校・泉鳥取高校の存続と 府立学校条例・再編整備計画の抜本的見直しを求める請願

### 【請願趣旨】

大阪府教育委員会は12月8日に開催された教育委員会会議で、8月30日に案として公表した「大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく令和3年度実施対象校」を正式決定しました。その内容は、島本高校、茨田高校、泉鳥取高校の3つの府立高校を、「3年連続して志願者が定員に満たない」ことを理由に2023年度から募集停止し廃校にするものとなっています。これは以下の点から極めて不当です。

第1に、子どもたちの学ぶ権利を保障するために設置されている公立高校の定員にはゆとりがあって当たり前であり、「志願者が定員に満たない」ことは廃校の理由にはなりません。

第2に、府教委の再編整備計画は少子化を理由に高校を減らす必要があるとしていますが、その試算は「1クラス40人」「1学年6クラス以上」を前提としており、将来にわたって教育条件改善に背を向けるものです。

第3に、対象となった3校は、「地域の学校」として重要な役割を果たしており、なくしてしまえば地域の子どもの学ぶ権利が侵害されます。

決定に先立って、大阪の高校を守る会が3校の存続を求める署名1万2904名分を提出したのをはじめ、島本高校を守る会、泉鳥取高校を守る会がネット署名を、泉鳥取高校同窓会が存続を求める要望書を提出、泉鳥取高校の地元では、自治会が654名の署名を集め、阪南市長が2度にわたって要望書を提出、阪南市議会が存続を求める決議を挙げるなど、地域をあげて反対の声が上がりました。「様々な意見を踏まえ最終決定する」としながら、こうした府民、住民の声をまったく無視して決定を強行したことは極めて不当です。以上のことから下記について請願します。

### 【請願項目】

1. 「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画（2019年度～2023年度）」を抜本的に見直し、「府立高校・大阪市立高校あわせて8校程度の募集停止」方針を撤回すること。その具体化である大阪府立島本高校・茨田高校・泉鳥取高校の募集停止決定を撤回し、3校を存続させること。
2. 「3年連続して定員に満たない高校は再編整備の対象」としている大阪府立学校条例を抜本的に見直し、「定員」を理由にした高校つぶしは行わないこと。
3. 「少子化」をチャンスと捉え、「20人学級」など少人数学級の実現、学校規模の縮小など、すべての府立高校の教育条件を改善すること。

### 【請願者】

年 月 日

住所	
団体名	
代表者	印

連絡先：大阪の高校を守る会（〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11-707 ☎(06)6768-2106）